



冪自然数列の k 階差数列

任意の自然数 k に対して、自然数を k 乗した数列 $\{a_n\}$:

$$1^k, 2^k, 3^k, \dots$$

を考える。すなわち、数列 $\{a_n\}$ は、一般項が、

$$a_n = n^k$$

で与えられる数列である。自然数 l に対して、数列 $\{a_n\}$ の l 階差数列を $\{a_n^{(l)}\}$ を

$$a_n^{(l)} = a_{n+1}^{(l-1)} - a_n^{(l-1)}$$

によって定める。ここで、便宜上 $a_n^{(0)} := a_n$ としている。

$$\begin{array}{ccccccc}
a_1, & a_2, & a_3, & a_4, & \dots & a_n, & a_{n+1}, a_{n+2}, a_{n+3}, \dots \\
\swarrow & \searrow & \swarrow & \searrow & & \swarrow & \searrow & \swarrow & \searrow \\
a_1^{(1)}, & a_2^{(1)}, & a_3^{(1)}, & a_4^{(1)}, & \dots & a_n^{(1)}, & a_{n+1}^{(1)}, a_{n+2}^{(1)}, a_{n+3}^{(1)}, \dots \\
\swarrow & \searrow & \swarrow & \searrow & & \swarrow & \searrow & \swarrow & \searrow \\
a_1^{(2)}, & a_2^{(2)}, & a_3^{(2)}, & a_4^{(2)}, & \dots & a_n^{(2)}, & a_{n+1}^{(2)}, a_{n+2}^{(2)}, a_{n+3}^{(2)}, \dots
\end{array}$$

このとき、次が成り立つ。

命題. 任意の自然数 n に対して、

$$a_n^{(k)} = k!$$

が成り立つ。すなわち、自然数を k 乗した数列の k 階差数列は、定数列 $k!$ である。

証明. 数列 $\{a_n\}$ の k 階差数列 $\{a_n^{(k)}\}$ の一般項は、補題 1 から、

$$\begin{aligned}
a_n^{(k)} &= \sum_{i=0}^k \binom{k}{i} (-1)^{k-i} (n+i)^k \\
&= \sum_{i=0}^k \binom{k}{i} (-1)^{k-i} \sum_{j=0}^k \binom{k}{j} n^{k-j} i^j \\
&= \sum_{j=0}^k \binom{k}{j} n^{k-j} \sum_{i=0}^k \binom{k}{i} (-1)^{k-i} i^j
\end{aligned}$$

と計算できる。ここで、自然数 l に対して、和 $T(l, j)$ を

$$T(l, j) = \sum_{i=0}^l \binom{l}{i} (-1)^{l-i} i^j \quad (1)$$

で定めると、 $a_n^{(k)}$ は、

$$a_n^{(k)} = \sum_{j=0}^k \binom{k}{j} n^{k-j} T(k, j)$$

と書けるが、これは、補題 2 から、

$$a_n^{(k)} = \sum_{j=0}^{k-1} \binom{k}{j} n^{k-j} T(k, j) + T(k, k) = k!$$

と計算できる。よって、主張が従う。 □

補題 1. 一般の数列 $\{a_n\}$ に対して, その l 階差数列 $\{a_n^{(l)}\}$ を上のように定める. このとき,

$$a_n^{(l)} = \sum_{i=0}^l \binom{l}{i} (-1)^{l-i} a_{n+i}$$

が成り立つ. ここで, $\binom{l}{i} = \frac{l!}{i!(l-i)!}$ は二項係数である.

証明. l に関する帰納法で証明する. $i=1$ のときは, 定義から明らかである. 帰納法の仮定から,

$$\begin{aligned} a_n^{(l)} &= a_{n+1}^{(l-1)} - a_n^{(l-1)} \\ &= \sum_{i=0}^{l-1} \binom{l-1}{i} (-1)^{l-1-i} a_{n+1+i} - \sum_{i=0}^{l-1} \binom{l-1}{i} (-1)^{l-1-i} a_{n+i} \\ &= a_{n+l} + \sum_{i=0}^{l-2} \binom{l-1}{i} (-1)^{l-1-i} a_{n+1+i} - \sum_{i=1}^{l-1} \binom{l-1}{i} (-1)^{l-1-i} a_{n+i} - (-1)^{l-1} a_n \\ &= a_{n+l} + \sum_{i=1}^{l-1} \binom{l-1}{i-1} (-1)^{l-i} a_{n+i} + \sum_{i=1}^{l-1} \binom{l-1}{i} (-1)^{l-i} a_{n+i} + (-1)^l a_n \\ &= a_{n+l} + \sum_{i=1}^{l-1} \binom{l}{i} (-1)^{l-i} a_{n+i} + (-1)^l a_n \\ &= \sum_{i=0}^l \binom{l}{i} (-1)^{l-i} a_{n+i} \end{aligned} \quad (2)$$

と計算できる. ここで (2) では二項係数の公式 $\binom{l}{i} = \binom{l-1}{i-1} + \binom{l-1}{i}$ を用いた. \square

補題 2. 非負整数 $0 \leq j \leq l$ に対して, $T(l, j)$ を上の (1) で定めたものとする. このとき,

$$T(l, j) = \begin{cases} l! & (j = l) \\ 0 & (j < l) \end{cases}$$

が成り立つ.

証明. $0^0 = 1, 0! = 1$ に注意すると, $T(0, 0) = 0!, T(1, 0) = 0$ が確認できる. $1 \leq j \leq l$ とすると, 帰納法の仮定から

$$\begin{aligned} T(l, j) &= \sum_{i=1}^l \binom{l}{i} (-1)^{l-i} i^j \\ &= l \sum_{i=1}^{l-1} \binom{l-1}{i-1} (-1)^{l-i} i^{j-1} \quad (3) \\ &= l \sum_{i=0}^{l-1} \binom{l-1}{i} (-1)^{l-1-i} (i+1)^{j-1} \\ &= l \sum_{i=0}^{l-1} \binom{l-1}{i} (-1)^{l-1-i} \sum_{h=0}^{j-1} \binom{j-1}{h} i^h \\ &= l \sum_{h=0}^{j-1} \binom{j-1}{h} \sum_{i=0}^{l-1} \binom{l-1}{i} (-1)^{l-1-i} i^h \\ &= l \sum_{h=0}^{j-1} \binom{j-1}{h} T(l-1, h) \\ &= l T(l-1, j-1) \end{aligned} \quad (4)$$

と計算できる. ここで, (3) では二項係数の公式 $i \binom{l}{i} = l \binom{l-1}{i-1}$ を用いた. また, (4) においては帰納法の仮定を用いている. 最後に, $j=l$ なら, $j-1=l-1$ なので, このとき, 再び帰納法の仮定を用いて, $T(l, j) = l \cdot (l-1)! = l!$ が従う. $j < l$ なら, $j-1 < l-1$ なので, このときも同様に, $T(l, j) = l \cdot 0 = 0$ が従う. \square